



教育通信

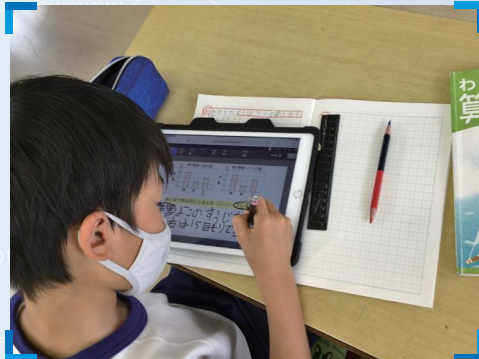
こころのわ WA VOL.31

●学校・家庭・地域社会の[心]を結ぶ●



©岡山県「ももっち」

特集 岡山県におけるGIGAスクール構想について



1人1台端末・高速通信ネットワーク環境で実現する学び

学校 // 主体的・対話的で深い学びの実現

個別最適な学習

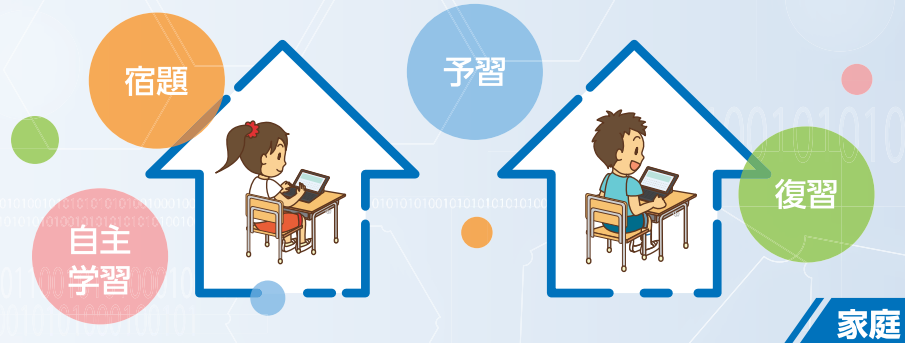


協働学習



1人1台端末がある環境では、次のような学びが可能となります。

- 一人一人が独自の視点で情報収集、写真や動画を用いた記録
- 一人一人の理解度に応じた学習
- 複数の意見や考えを議論した上での整理
- グループで分担・協働しての作品制作
- デジタル教材を使って、思考を深める学習



その一方で...

保護者等の不安

学校では、どんな使い方をしているの?
特集テーマ①へ!

スマホやパソコンは便利だけど、危険に巻き込まれることはない?
特集テーマ③へ!

スマホやパソコンを使って、家でより深く学べないかな?
特集テーマ②へ!

パソコンやスマホの画面ばかり見ている子どもの目が心配...
特集テーマ④へ!

詳しくは、中面の「特集」をご覧ください!

県教育長からの

メッセージ

新型コロナウイルス感染症は、いまだ予断を許さない状況が続いていますが、私たち岡山県の教育に携わります者は、何よりも子どもたちの学びを止めないこと、そして子どもたちが安心して安全に学校に通うことができるように、一人ひとりがそれぞれの持ち場で知恵を絞り、感染症対策や学校行事、日々の学習準備に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症により学校の環境も大きく変わっています。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、小・中・特別支援学校では、昨年度中に1人1台のコンピュータやタブレットなどの端末が整備され、県立高校では今年度入学者から保護者の皆様にご負担いただき1人1台端末の整備を進めています。今年4月には7割の高校で整備が完了し、来年度には全校で導入し、活用いたします。

「情報通信技術（ICT）」は社会のあらゆる場所で活用されています。これからの時代を生きる子どもたちにとっては、コンピュータやタブレット端末は鉛筆やノートといった文房具と並ぶ必需品です。ICTを活用することにより、先生方は子どもたちに、より分かりやすく学習内容を提示することができますし、すべての子ども

たちの課題に対する考えを把握し、それを瞬時に子どもたち全員と共有することも可能になります。また、個々の子どもたちの理解の程度に応じた課題に取り組みさせることもできるようになります。このことによって、資質・能力の育成はより効率的・効果的に進めることができるようになって考えています。

かつて私たちの岡山県は、人材育成に対する県民の熱意や教育環境について、全国から高い評価を受け、教育県として全国に知られました。詳しくは、今年度8月に発行した「『教育県岡山』の成り立ちとこれから～新しい教育を岡山から～」に譲りますが、かつての岡山の教育が「全国の手本」であったように、これからの時代に必要となる資質・能力の育成に向け、ICTの積極的な活用や地域をフィールドとした課題解決型学習（PBL）を一層推進し、新しい教育を岡山から発信してまいります。

岡山県教育委員会 教育長 鍵本 芳明



家庭向け教育情報紙「こころのわ」Vol.31 令和3年10月発行

編集・発行／岡山県教育庁教育政策課 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 ☎086-226-7569

この「こころのわ」は子どもたちをすくやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆様へ提供します。*「こころのわ」は県のホームページからダウンロードできます。

「教育県岡山」の成り立ちとこれから
～新しい教育を岡山から～はコチラ

